

支部定期大会 を開催



ひろしま

郵政産業労働者ユニオン
広島支部(広島郵便局内)
支部メールアドレス
piwu_hiroshima@yahoo.co.jp

第5回広島支部定期大会を開催

広島支部は8月23日(日)、東区地域福祉センターにて第5回定期大会を開催しました。昨年の大会以降、9月の広島東局業務移管に伴う大取集の変更や、年末年始繁忙に対する要求を提出し交渉を行うなど、精力的に活動を行ってきましたが、年明け以降、コロナ感染症の拡大により多くの取り組みが中止や変更を余儀なくされました。

そのような中、支部内では夏季繁忙要求で交渉を行い、8月6日の原爆の日に関連する様々な行動に参加してきました。

非正規労働者への差別をなくそう！

また、郵政ユニオン全体としても、今年2月、非正規労働者への不当な差別を撤廃させるために、呉支部や岡山支部の仲間をはじめ全国154人の非正規の組合員が「労働契約法20条裁判」の第二次集団訴訟に踏み切りました。広島中央支部の2人の原告を含む一次訴訟も、9月10日に最高裁で弁論が行われることになっています。最低賃金引上げの取り組み

も、東京では街頭で宣伝活動を行ってきましたし、7月22日の中央審議会の「引き上げゼロ」の答申を受け、地方審議会へ意見書を提出、広島の審議会では、広島支部の組合員が意見陳述を行い、最低賃金の額を東京に合わせ全国一律にするよう求めました。残念ながら広島もゼロ回答でしたが、処遇改善に向け引き続き取り組んでいきます。

みんなの力で働きやすい職場に！

広島局開局から3年あまり、当初は手探り状態で、労使が知恵を出し合いながら、100点満点ではないにしても、仕事のしやすい環境づくりが行われてきました。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう！ 会社は組合事務室を貸与せよ！

しかし、4年目に入り、様子は一変しました。これまでのことは無かったことに。「俺のやり方が正しい」「俺に従え」です。「意見があればBOXに入れろ」

意見箱は、民主的と錯覚するかもしれませんが、出された意見は垂れ流し、都合の悪い意見にはできない言い訳。都合の良い意見だけ取り入れ「みんなから出た意見」と決めつける。違います。あくまでも個人の意見です。ネットの無法ぶりとは大差ありません。民主主義を破壊する最も単純な手口です。かんぼ生命も根は同じなのです。民主主義を大切にする人なら、みんなの意見を組織の意見とし

て取り上げます。

胸を張って活動しよう!

8月、2人の仲間が郵政ユニオンに加わりました。私たちはまだまだ非力ではありませんが、弱い立場に置かれた人の意見を聞きながら活動しています。労働者が経営者と対等に話ができるようする権利は労働組合に与えられました。私たちは、これを最大限活用します。「組合費はどぶに捨てるようなものだ」と組合員に言われたいよう、新たな仲間とともに精一杯がんばりますので、ご声援をお願いします。

今後の予定

- ① 郵政労契法20条 東日本西日本訴訟
最高裁弁論
9月10日(木)13:30～(西日本裁判)
15:30～(東日本裁判)
最高裁第1小法廷
- ② 労契法20条 郵政ユニオン集団訴訟
中国訴訟第2回公判
9月11日(金)11:00～
広島地裁

新執行部役員体制

- 支部長 増田 正文(郵便)
- 副支部長 森原 茂(輸送)
- 書記長 竹中 道彦(郵便)
- 執行委員 竹本 和友(郵便)
- 執行委員 栗原 哲也(郵便)
- 執行委員 上関 英穂(輸送)
- 会計監査 倉本 誠(輸送)
- 会計監査 山中 正治(郵便)

どうぞよろしくお願いします